

■水谷八重子 俳優。子役から芸術座を経て新派に移り、没するまで若さと美しさ保ち、“八重子十種”の名演を遺した。

みずたにやえこ

日露戦争終・1905＝ 東京神楽坂で時計職人の末っ子に生まれた。

満鉄発足・・・1906＝ 1歳：この年長兄が死去、二、三兄は夭折していたので、男兄弟のすべてを失う。

韓国反日暴動1907＝ 2歳：姉が長崎の三菱造船所長の息子水谷竹紫と結婚。

伊藤博文暗殺1909＝ 4歳：生来病弱だったので、健康のため、日本舞踊を習い出す。

韓国併合・・・1910＝ 5歳：父が死去し、以後、母とともに、義兄の水谷竹紫のもとに寄寓し、その保護のもとに成長。

明治天皇没・1912＝ 7歳：牛込赤城小学校に入学。

大正政変・・・1913＝ 8歳：島村抱月・松井須磨子の芸術座に子役で初出演。

第一次大戦始1914＝ 9歳：

義兄は遺産の殆どを芸術座に注ぎ込み、引越越し好きでもあって、家計は苦しかった。

民本主義・・・1916＝11歳：*「アンナ・カレーニナ」のセルジー役を水谷八重子を名のって演じ、好評。

本格政党内閣1918＝13歳：双葉高等女学校に入学。

大暴落・・・1920＝15歳：民衆座の「青い鳥」のチルチルを演じて、頭角を現す。{わかもの座}を結成。

原敬首相暗殺1921＝16歳：国活映画の「寒椿」に出演、共演の井上正夫に認められるが、在学中で問題化。以後、井上との合同多し。

水平社結成・1922＝17歳：卒業。守田勘弥と知り合う。

関東大震災・1923＝18歳：御国座の「大尉の娘」役が当たる。

護憲三派圧勝1924＝19歳：竹紫が作った第2次芸術座の女優として正式に劇界に入る。

円本時代始・1926＝21歳：松竹映画に出演。竹紫夫妻と視察渡米。

金融恐慌・・・1927＝22歳：“三越のファッションショー”のモデルに起用された。

共産党事件・1928＝23歳：松竹と提携、迎えられて新派に参加、可憐な娘役の演技で、先輩の女形たちと共演した。

世界恐慌・・・1929＝24歳：トーキー「大尉の娘」に出演。

満州事変・・・1931＝26歳：花柳流の名取となる。

五一五事件・1932＝27歳：*国民文芸賞。

芥川直木賞始1935＝30歳：竹紫が胃がんで死去し、

井上正夫との提携を解消するなど、転機を迎えた。

日中戦争始・1937＝32歳：守田勘弥と結婚。

第二次大戦始1939＝34歳：のちの良重が誕生。

日米開戦・・・1941＝36歳：初めて不入りで赤字のショックを受ける。

・・・1942＝37歳：母が死去。

戦局の進展に伴い、国内各地を移動公演。

敗戦・・・1945＝40歳：戦争逼迫で活動不能となり、解散、疎開。

新憲法公布・1946＝41歳：2世市川猿之助と共演の舟橋聖一作「滝口入道の恋」が話題をよぶ。

新劇の演出家菅原卓の指導で意欲的な企画をえらび、新派と新劇の間を考えた近代劇の演目によっても注目された。

朝鮮戦争始・1950＝45歳：菅原卓と現代劇運動を起こすが、1年で挫折、

独立回復・・・1951＝46歳：離婚。スランプに陥るが、

メデー事件・1952＝47歳：*歌舞伎座公演が好評で脱し、新境地に到る。その後は、主として新派や映画に出演。

55年体制始・1955＝50歳：初めてラジオドラマを執筆。

国連加盟・・・1956＝51歳：芸術院賞。

なべ底不況・1957＝52歳：菊池寛賞。

インスタントラーメン・1958＝53歳：紫綬褒章。

美智子妃・・・1959＝54歳：

安保闘争・・・1960＝55歳：

全国総合計画1962＝57歳：子宮癌で出演中倒れ、長期休演するが、全快。

TV宇宙中継始1963＝58歳：日生劇場落成記念公演「ものみな歌でおわる」。

大学紛争始・1965＝60歳：戦後の新派をともに支えた花柳章太郎の死去後は、

舞台の上の相手役に若い俳優を起用、死ぬまで若さと美しさを失わなかった。

いざなぎ景気1966＝61歳：日本芸術院会員。自伝「女優一代」。

震ヶ関ビル・1968＝63歳：

トルショック・・・1971＝66歳：文化功労者。

日中国交回復1972＝67歳：三島由紀夫作品連続公演の第1回「鹿鳴館」に主演。

創作劇のほかに、女形ののこした明治以来の新派演目の女主人公の芸をも継承し、

石油ショック1973＝68歳：「大尉の娘」の露子、「皇女和の宮」「十三夜」「鹿鳴館」その他の“八重子十種”を自選して、

JALハイジャック・1977＝72歳：

革新大敗北・1979＝74歳：乳癌が進行して、公演中に倒れ、没した。

シリーズ「人間の記録」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、「日本の女性」、